

学校給食と調理員の歴史

講師：むらき数子さん（日本近現代史・女性史・民俗学研究者）

日時：10月11日（土）午後2時～4時

会場：ゆのした市民交流センター

およびオンライン（Zoom）

資料代：オンライン、会場とも500円（30歳以下無料）

「学校給食」と聞くと、子どもの頃の「給食」体験を思い出す方が多いと思います。「給食費無償化」「食の安全」「給食の質」を求める運動や「給食指導」に関わった方も多いことでしょう。その給食を作っていた調理員は、どういう人で、どんな働き方をして暮らしていたのでしょうか？

「給食のおばさん」と呼ばれてきた調理員による手記や聞き取りは稀ですが、日野市には、1980年代末に、学校給食のあゆみの記録2種が残されていました。

学校給食に関する「常識」をおさらいしたうえで、政策・制度の変遷が、現場で働く人々にどう現れてきたかを、日野市の記録を軸にたどります。

【むらき数子 プロフィール】1945年東京都生まれ。「国策と個々人の人生との干渉」に関心を抱いて、近現代史・女性史・生活史・民俗学に学んできました。主な論稿は、「疎開とは女にとって何だったのか」（『銃後史ノート』通巻8号（復刊5号）、1983.12.1）「産めよ増やせよ」から「生むな、ふやすな！」へ、そして……産婆・益永スミコさんに聞きながら考える一」（『昔風と当世風』第106号、古々路の会、2021.10.1）

オンライン(Zoom)申込み

1) 右のQRコードまたは下のURLから参加をご登録ください。



<https://hinojichiken.wixsite.com/info/entry>

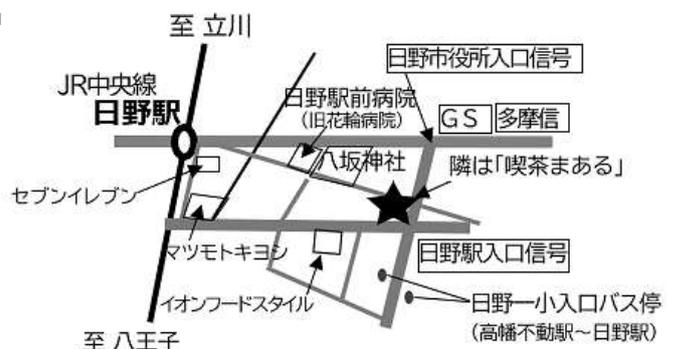
2) 開催前までに、ゆうちょ銀行振替口座に資料代をお振込みください。

【口座記号番号】00150-4-154096

【加入者名】特定非営利活動法人 日野・市民自治研究所

※通信欄に「10/11 定例研資料代」と明記、ご住所、お名前をご記入ください。開催前の振り込みが難しい場合は必ず前日までにメールでご相談ください。

会場参加申込み 上記の1) または電話・FAX・メールでお申込みください。➡



JR中央線・日野駅徒歩4分。または京王バス 高幡不動駅～日野駅「日野一小入口」下車 徒歩1分

認定NPO法人 日野・市民自治研究所

〒191-0011 東京都日野市日野本町 3-13-16
ゆのした市民交流センター内(JR中央線日野駅徒歩約4分)

☎ FAX : 042-589-2106

Eメール : bcj03637@nifty.com

ホームページ <https://hinojichiken.wixsite.com/info>